

## 産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 単胎妊娠と双胎妊娠における妊娠糖尿病(GDM)の出現頻度の比較検討

[研究機関] 北海道大学病院産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 講師・病棟医長）

[研究の目的] 海外から GDM は単胎妊娠に比べ多胎妊娠で多いとの報告があったが、その後単胎と双胎で GDM の発症率には差がないとの報告があった。後方視的に単胎妊娠と双胎妊娠で妊娠糖尿病(GDM)の出現頻度が異なるか明らかにする。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

北海道大学病院産科・周産母子センターにおいて 2008 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日までに妊娠 26 週以降に分娩した妊婦のうち、妊娠中期(24-26 週)に 50g 糖負荷試験(GCT)を施行された妊婦

#### ●利用するカルテ情報

- 妊娠初期の随時血糖値ならびに HbA1c 値、妊娠初期の尿糖の有無
- 妊娠初期に施行された 75g 糖負荷試験の結果
- 妊娠 24-28 週に施行された 50g 糖負荷試験の結果
- 50g 糖負荷試験で陽性だった際にその後施行された 75g 糖負荷試験の結果
- 母体所見：母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術ならびに器械分娩施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、妊娠期間中の母体体重の推移、分娩前母体体重、
- 妊娠糖尿病または“妊娠時に診断された明らかな糖尿病 overt diabetes in pregnancy”と診断された場合の血糖自己測定の結果ならびに治療内容（食事療法、インスリン強化療法など）
- 妊娠偶発合併症（妊娠高血圧症候群など）ならびに周産期合併症（肩甲難産、分娩停止、弛緩出血など）の発症の有無、それらに対する治療内容
- 新生児所見：出生体重、奇形の有無、出生時低血糖の有無、新生児仮死の有無、
- 胎盤所見：胎盤重量、病理学的組織検索の結果
- 血液学的検査所見、尿検査所見、血圧

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932